

## 技術資料2 住民ニーズの把握調査(アンケート)事例

優先的に取り組む課題を抽出するには、地域の気候的な特徴と合わせて市民のニーズなどを把握することが有効です。そこで、ヒートアイランド現象に対する市民の意識などをアンケートすることで、課題を抽出する上で重要な情報を得ることができます。

複数の地方公共団体では、実際にヒートアイランド現象に対する意識などについてアンケートを実施しています。アンケートの項目には、以下のようなものがあります。

- ・ヒートアイランド現象の認知度
- ・暑くて困る時間帯
- ・暑くて困る場所
- ・以前にくらべて暑くなったと感ずることがあるか
- ・有効と思われるヒートアイランド対策
- ・自分で取り組むことのできるヒートアイランド対策

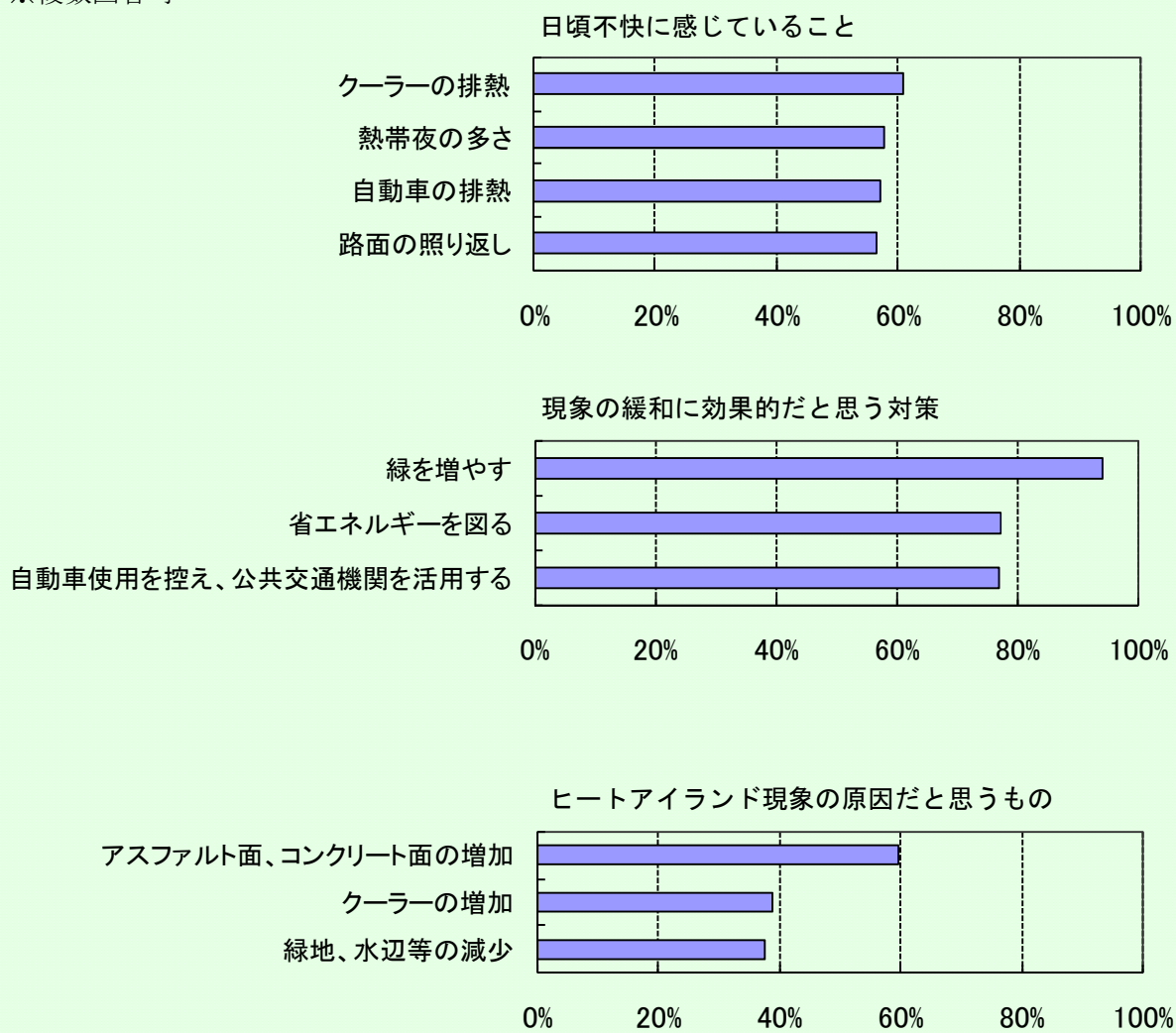
これらのアンケート結果を見ると、市民は身の回りの暑さを敏感に感じているようです。暑く感ずる時間帯は地域によって異なるようですが、寝ている間か、日中の最も暑くなる時間帯のどちらかとなっています。また、特に熱く感ずる場所については、歩道などのアスファルト上といった意見が共通しています。

以下に公表されているアンケート結果の例を記します。

### ●大阪市の例

1. 実施時期 平成16年7月
2. 調査方法 電話調査法
3. 調査対象者 市政モニター 600人
4. 回収率 92%
5. アンケート結果(抜粋)

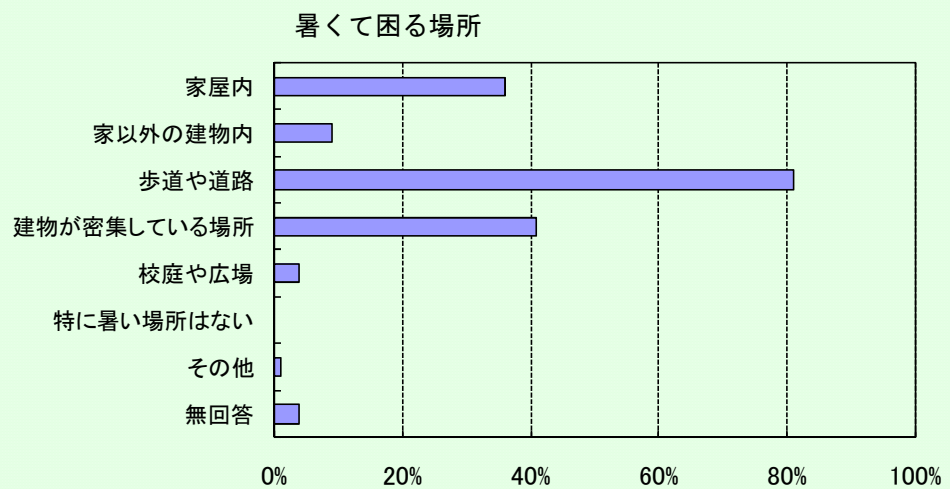
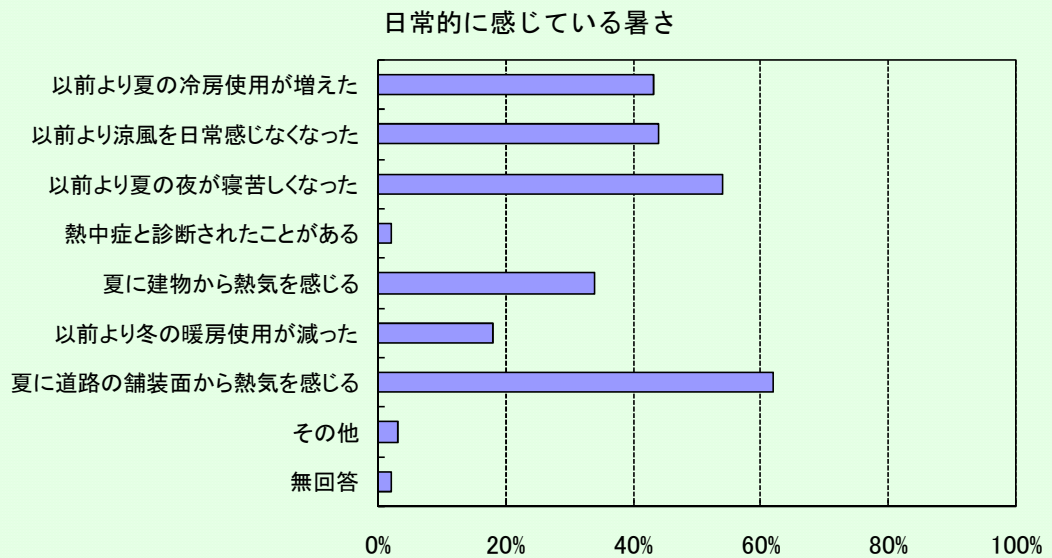
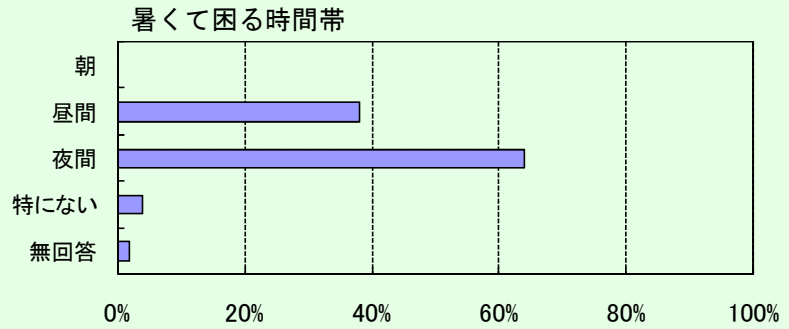
※複数回答可



資料) 大阪市:平成16年度市政モニター第1回電話アンケート「ヒートアイランド対策について」

●横浜市の場合

1. 実施時期 平成16年11月
2. 調査方法 環境イベントへの来場者を対象としたアンケート調査
3. 調査対象者 市民188人
4. 回収率 74%
5. アンケート結果(抜粋)  
※複数回答可



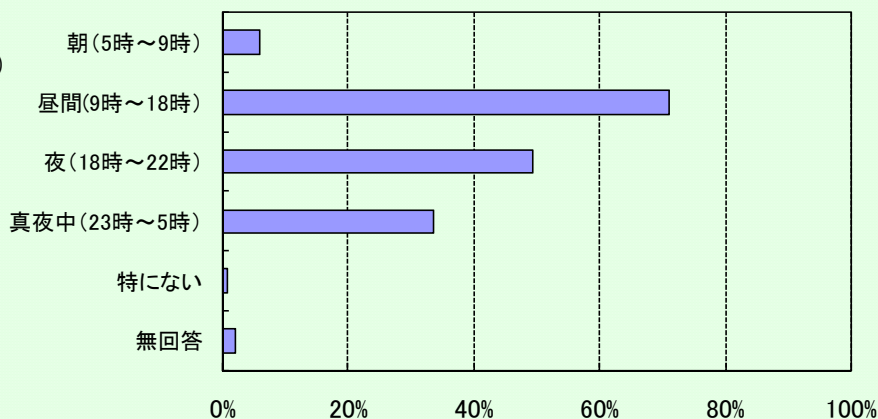
資料) 横浜市ヒートアイランド対策取組方針, 平成18年3月

●堺市の例

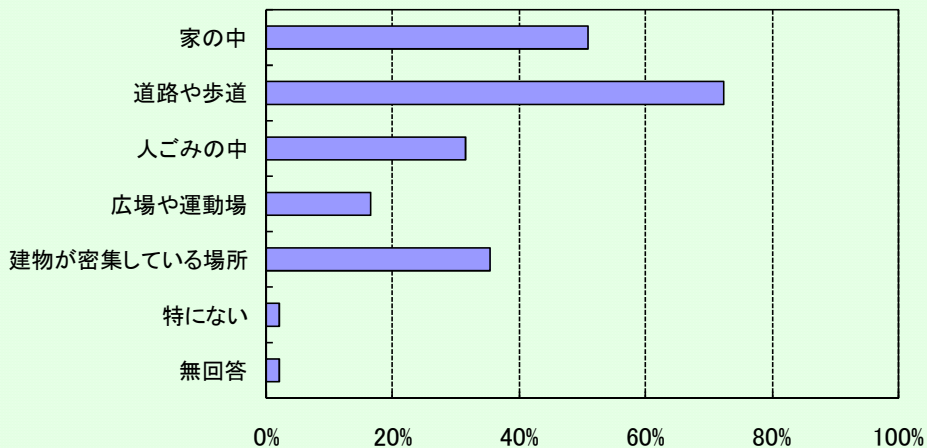
1. 実施時期 平成19年7月
2. 調査方法 郵送調査法
3. 調査対象者 市民2,000人
4. 回収率 34%
5. アンケート結果(抜粋)

※複数回答可

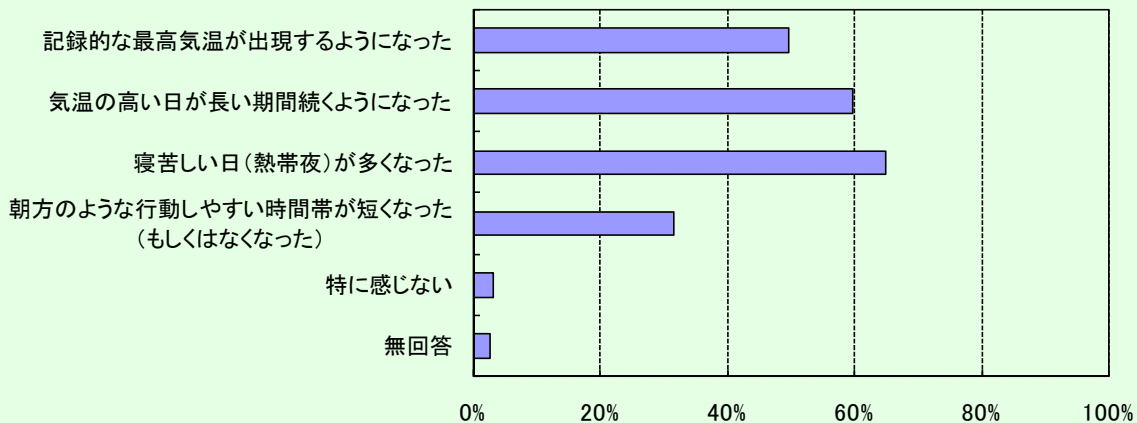
暑くて困る時間帯



暑くて困る場所



以前にくらべて特に暑くなったと感じることがあるか



資料) 堺市ヒートアイランド対策指針, 平成20年3月より